

マンスリータイムズ 卒業記念号

海南省立海南下津高等学校
3月号
平成25年3月1日発行

海南下津高校 4期生諸君、卒業おめでとう！！

《卒業生の思いがこもった答辞》

ずいぶん前から心の準備をしていたはずなのに、今、「卒業式」に出席していることが嘘のように感じられます。今日を無事に迎えられたことが嬉しくもあり、寂しくもあります。三年間を思い返してみると、毎日の中にある何気ない物事ひとつひとつが、とても愛おしいです。通い慣れた通学路。門をくぐる先生方が笑顔であいさつをしてくれる。教室のドアを開けると「おはよう」とあいさつをかわし、たわいもない話が飛びかう。こんな毎日が当たり前で、卒業するという実感を持つことができないまま、日々を過ごしてきました。

辛いことも楽しいことも、数えきれないくらいの経験がぎゅっと詰まった高校生活、そばにはいつも一緒に喜びを感じ、本気で思いあえる人たちの支えがありました。

希望でいっぱい新しい制服で、校門をくぐった入学式の日、体育館の壇上立った担任の先生は、どのクラスの先生もきりつと真面目で、怒るととても怖そう、という印象でした。教室ではしばらくの間緊張して誰も話そうとせず、とても静かな空気が流れていました。期待が大きい一方で、慣れない高校生活と新しいクラスメートに不安でいっぱいでした。日が経つにつれて話せる相手が増え、日々の授業や行事を重ねるごとに仲が良くなっていきました。

二年生の修学旅行では沖縄に行きました。美しい自然、友達と店をまわったり一緒にご飯を食べたり・・・あまりの楽しさに寝ることも忘れてしまいました。夜中にスリルを味わいながら、ほんの少し部屋を抜け出したことも思い出の一つです。友達との仲が一層深まり、今でもあまり関わらなかった人とも写真を撮ったり話をしたり、本当にあつという間に三日間が過ぎていきました。

体育祭ではクラス全員の名前が入った大きな旗を作りました。クラスが一つになって取り組むことができました。先生と一緒に借り物競争など、笑いが止まらない競技ばかりでした。中でも一番盛り上がったのはリレーです。先生チームも参加して、グラウンドの声援がさらに大きくなりました。頑張ることができたのは、応援の声があったからだと思います。チームの一体感と喜びがあふれていました。クラスで撮った写真はみんな笑っていました。一瞬で終わってしまったように感じられたけれど、心にはずっと思い出が刻まれています。

文化祭では、毎日放課後遅くまで残って準備をしてステージを完成させました。振り付けがなかなか覚えられなくて嫌になり、投げ出してしまうこともありました。見てくれる人は楽しんで盛り上げてくれるだろうかという不安と焦りでいっぱいでしたが、舞台上立つと、みんなの笑顔が体育館中に広がりました。達成感と、なによりクラスの絆が深まるのを感じる事ができました。今でも、会話の中で文化祭の話題になると自然と笑顔がこぼれます。最高の仲間と最高の舞台を作り上げた、とても幸せな瞬間でした。

学習の面では、食物科と家政科という二つの学科があります。

食物科のみんなは、プロの調理師の方からの講習や自分達で考えた集団給食、食品の衛生に関する授業など専門的な授業がたくさんありました。百食以上のお弁当を作る集団給食は本当に大変そうでした。色合いや味付け、栄養バランスにも気をつけて、力を合わせて調理している姿がとてもカッコよく思えました。見た目はお店に並んでいてもおかしくないくらいの仕上がりで、とてもおいしかったです。卒業制作では、キャラクターをデザインしたご飯や彩りを工夫して旬のものを使って一人ひとり考えたオリジナルの料理が作られていました。やけどや指を切ったこともあると思います。失敗をして怒られて嫌な気持ちになったと思います。それでもがんばっている食物科のみんなを見てみると、自分も負けていけない、頑張らなければ、と力づけられました。

家政科では、保育・被服・食物のことにについて専門的に学びました。保育では人形の赤ちゃんを使っておむつを替えたり、紙芝居の読み聞かせをしたりしました。実際に保育園に行き、子ども達とふれ合うこともしました。学校に帰ってきたら、今日あったことや可愛かった子のこと、嬉しかったことや楽しかったことをたくさん話しました。

被服では卒業制作で、プロが作ったような本格的な服や小物などを作り上げました。複雑で難しい部分もきれいに縫われていて誰もが使いたくなるものばかりでした。

食物では毎週一回調理実習をしました。詳しい解説で調理の際の細かいポイントについても知ることができました。グループ実習を通して、普段関わりが少ない友達とも話をする事ができました。みんなで楽しくおいしく、笑いがたえない実習時間でした。

それぞれ専門分野は違ったけれど、将来役に立つ授業ばかりでした。難しい内容でくじけそうになることもあったけれど、やり遂げた時には最高に嬉しい気持ちになりました。

この海南下津高校で大切な友達に出会いました。相談すると真剣に聞いてくれて一緒に悩んでくれる友達、イベント事になると張り切って盛り上げてくれる友達、一緒に笑い合える友達・・・。良いことばかりではありません。喧嘩をして悔しくて泣いた時もありました。卒業が近づくと一人である、頭に浮かぶのはいつも友達の笑顔です。離れていると心がなんだか寂しくて、かけがえのない存在に気づかれました。一緒にいるだけで笑顔になれて、楽しくて、こんな友達に囲まれて最高に幸せです。一生の宝物です。これからはみんなそれぞれの道を進むことになりました。海南下津の友達がいなくても大丈夫なのか、一人で進んでいけるのか、とても不安になります。でも、友達は背中を押してくれます。友達との絆が力を与えてくれます。この学校で共に過ごした思い出がいままで心の中で咲き続けていくでしょう。

一、二年生のみなさん。私たちは頼りになるいい先輩だったでしょうか。かわいくていつも元気な先輩にめぐり会えてとても幸せに思います。みなさんにはまだ時間があります。友達とたくさん遊んでください。たくさん笑ってください。海南下津高校を伝統のあるいい学校にしていってください。

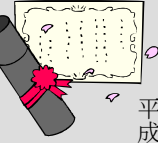
家族のように親しく接してください。先生方。放課後遅くまで勉強を教えてください。真剣に相談に乗ってください。わたしたち生徒のことを一番に考えてくれて理解してくれる。こんな先生方に私たちは初めて出会いました。最後の最後まで付き合ってください。ここまで成長させてくれてありがとうございます。

お父さん、お母さん、家族はいつも私たちの一番の味方でいてくれました。心配をかけ、怒らせてしまったこと、ごめんなさい。愛情いっぱい育ててくれて、揺れ動く心を支えてくれてありがとう。これからもいっばい迷惑をかけると思いますが、よろしくお願いします。

私たちはまだまだ未熟ですが、今日からは自分の足で一步一步歩いてゆきます。友達や両親に頼ることがたくさんあると思うし、くじけそうになったり、挫折することもたくさんあると思います。それでも新しい未来に向かって、新しい世界で一生懸命頑張りたいと思います。一人前の社会人として認められるように成長していきたいです。この海南下津高校で得た学びと思いで、そして友達を胸に・・・。

平成二十五年 三月一日

卒業生代表 勢力美穂



- 《卒業に際しての表彰》
- 〔学校賞〕原田 莉沙 〔精勤賞〕笹尾千尋 湯川富美 〔産業教育振興会中央会長表彰〕林 絵理子 〔産業教育振興会県会長表彰〕勢力 美穂
- 〔県高校職業教育技術県知事賞〕西村 美耶 原田 莉沙 〔学校家庭クラブ全国表彰〕長尾 有理衣 〔学校家庭クラブ県表彰〕荻野 奈津季 萬崎 あかね
- 〔家庭科技術検定三冠王〕長坂 純菜 中村 有紀 三木 優美 吉岡 ふたば 澤上 真奈美 原田 莉沙
- 〔クラブ奨励賞〕【書道】久保 結夢 長坂 純菜 中村 有紀 【総合文化】西村 美耶 前田 弥緒 【華道】上西 さえ子
- 【茶道】古谷 智子 西村 美耶 湯川 富美 【ライフル射撃】澤上 真奈美



校内マラソン大会

2月13日(水)、5kmのコースを寒い中、生徒たちは白い息を吐きながらよく頑張りました。入賞者は次の通りです。

- 1位 2A 瀧谷 奈津希
- 2位 1B 西谷 美緒
- 3位 2A 阪本 あい妃
- 4位 1C 西村 菜摘
- 5位 1C 久保 茜
- 6位 1A 長谷 沙緒里



売れ行き好調！

2月14日(木)に記者発表(右写真)をしたローソコパ®商品。2月19日(火)に和歌山県下115店舗で発売となり、売上は好調です。お弁当の名称は『アイワ®和歌山弁当』、おにぎりは『鶏そぼろ梅風味』と定番の『シーチキン梅マヨ』です。パンは『フィッシュフライバーガー(紀州梅マヨ)』。みなさんも家族、友人、ご近所に宣伝して、ご賞味下さい。



『海南下津高校のみなさんが考えました』というフレーズと3B前田弥緒さんが描いたキャラクターが、今年のパッケージを飾っています。